

『白山史学』論文一覧

※肩書きは全て当時のものです

■ 創刊号（1953年）

自然境界説

（東洋大学教授 長寿吉）

愚管抄より見たる天皇制について

（大仁高校教諭 望月兼次郎）

河朔三鎮の一考察

（東洋大学卒業生 渡辺道夫）

地中海世界に於けるマニケルツーム形成の問題

（京北高校教諭 須永柸尾）

武蔵国田園調布四丁目観音塚古墳発掘報告

（東洋大学助手 市原寿文）

書評 トインビー「試練に立つ文明」

（東洋大学助手 谷茂樹）

■ 第二号（1956年）

北魏の西域交通に関する諸問題（その2）

（東洋大学助教授 船木勝馬）

十九世紀前半の潮流

（東洋大学講師 谷茂樹）

アルペラをめぐる初期キリスト教会の一傾向

（東洋大学助手 須永柸尾）

建長寺正統庵領丹波国成松保について

（東洋大学講師 貫達人）

書評 「令集解法令索引」

（東洋大学助手 亀田隆之）

書評 「正倉院伎楽面の研究」

（石田茂作）

書評 「日華文化交流史」

（木宮達彦）

■ 第三号 (1957年)

ヒミコ問題の根本的解決

(東洋大学教授 市村其三郎)

日本民族の構成に関する一研究

(東洋大学教授 鳥羽正雄)

モーアの「ユートピア」研究 一特に戦争論について一

(東洋大学助教授 細川清)

H.ハーリング「ラテンアメリカ史」

(東洋大学講師 谷茂樹)

■ 第四号 (鳥山先生追悼号) (1959年)

渤海の建国年次について

(元東洋大学教授 鳥山喜一)

葛西御厨について

(東洋大学教授 千葉栄)

イギリス・マナーの「封建的反動」に関する一考察

(東洋大学助教授 斉藤昭三)

隅田川の古河道をたどって

(東洋大学教授 千葉栄)

追悼記事

鳥山先生略年譜

著作目録

■ 第五号 (1959年)

本朝通鑑論

(東洋大学教授 市村其三郎)

スペイン絶対主義の一考察

(東洋大学講師 谷茂樹)

麹氏高昌国の成立について

(東洋大学卒業生 北条祐勝)

下総国小金本土寺過去帳覚書

(東洋大学卒業生 石井英雄)

書評 令集解索引稿

(東洋大学講師 亀田隆之)

■ 第六・七号 (1960年)

アングロ・サクソン史研究の一動向

(前東洋大学教授 青山吉信)

神仏分離期の一考察

(東洋大学教授 千葉栄)

上代地方豪族吉備氏に関する一考察

(東洋大学助手 石井英雄)

書評 令義解索引稿

(東洋大学講師 亀田隆之)

■ 第八号 (1961年)

栗本鋤雲について

(東洋大学教授 千葉栄)

波斯湾の不知火 —アルシアバド考—

(郁文館高校教諭 渡辺宏)

神功皇后のナゾ

(東洋大学教授 市村其三郎)

ロンドン生活の近頃

(東洋大学兼任教授 内藤智秀)

■ 第九号 (1963年)

ノヴォゴロド「民会」考(上)

(東洋大学助教授 田中陽兒)

吾妻鏡の合戦記事についての一考察

—源平争乱期を中心として—

(鎌倉国宝館研究員 佐藤勝男)

慕容部の漢人政策についての一考察 —前燕国成立以前を中心として—

(東洋大学教学課書記 飯塚勝重)

世界史教育に於ける二つの問題

(新潟県明訓高校教諭 須永柸尾)

■ 第十号記念号（1964年）

三国志の世界と日本書紀の直筆

（東洋大学教授 市村其三郎）

鮮卑史序説

（東洋大学助教授 船木勝馬）

ノヴォゴロド「民会」考（中）

（東洋大学助教授 田中陽兒）

イエローブックとその時代

（東洋大学講師 谷茂樹）

室町幕府侍所考 一その一 初期構成一

（東洋大学講師 羽下徳彦）

■ 第十一号（1965年）

ノヴォゴロド「民会」考（下）

（東洋大学助教授 田中陽兒）

沈周伝小考

（山内四郎）

南朝の寺有奴婢について

（東洋大学助手 谷口房男）

■ 第十二号（1966年）

明治憲法成立史の一断面 一一八八六年の歴史書き替え一

（東洋大学教授 市村其三郎）

前漢時代における徒辺民について

（中央大学大学院文学研究科博士課程 池田雄一）

生物進化論と社会思想

（早稲田大学大学院文学研究科修士課程 横山利明）

養老令にみる中央官吏の勤務評定基準について

（東洋大学助手 佐藤俊雄）

■ 第十三号（1967年）

“建国記念の日”批判 一三善学説の勝利一

(東洋大学教授 市村其三郎)

宋代の大食国朝貢

(東洋大学卒業生 渡辺宏)

恵美刷雄・恵美薩雄考

(東洋大学卒業生 石井英雄)

■ 第十四号 (1968年)

大和政権と耶馬台国 —東遷説の自己批判—

(東洋大学教授 市村其三郎)

預状についての一考察

(東洋大学教授 寶月圭吾)

北宋における提挙在京緒司庫務司と提点在京倉草場所の興廢

(東洋大学教授 周藤吉之)

十三世紀のロシアにおける「公」(クニャーシ)権力の性格
—ノヴゴロドとトヴェーリ公との契約状—

(東洋大学助教授 田中陽兒)

米国の臨時全国経済調査委員会(一九三八)の一考察

(東洋大学助教授 谷茂樹)

宋・齊時代の蛮について

(東洋大学助手 谷口房男)

■ 第十五・十六合併号 (1971年)

神社信仰の変遷 —素盞雄神社来由記(仮称)を中心として—

(東洋大学教授 千葉栄)

阿蘭陀通詞西雅九郎と江戸の蘭学界

(東洋大学兼任講師 片桐一男)

渡良瀬川上流の河川運輸 —南北猿田河岸を中心に—

(足利高等学校教諭 手塚良徳)

続日本紀にみる「資人」の存在形態について

(東洋大学助手 佐藤俊雄)

城下町の形成過程における問題点

—諏訪氏の家臣団の変様とその城下町集住状況について—

(千葉経済高等学校教諭 山辺健夫)

三国時代の蛮について —孫呉の武陵蛮対策を中心として—

(東洋大学助手 谷口房男)

朱元璋集団内での部将の地位について

(立教大学大学院修士課程 小林隆夫)

プロイセン絶対主義下の原蓄過程とツンフト分解の再検討

(立教大学大学院修士課程 浅沼由和)

書評 周藤吉之「宋代史研究」

(大阪大学文学部助教授 斯波義信)

■ 第十七号 (1973年)

中世における用水地の築造について

(東洋大学教授 寶月圭吾)

弘治十二年会試不正事件について 一唐寅事績に関する一考察一

(東洋大学職員 山内四郎)

室町期公家領荘園崩壊過程の様相と二三の問題点

一九条家の場合、殊に日根荘を中心に一

(東洋大学大学院修士課程修了 安西欣治)

橘孝三郎と五・一五事件

(東洋大学大学院修士課程 山崎博)

「濫百姓」に関する若干の問題

(東洋大学史学科国史四年 大窪範光)

晋の文公即位をめぐる一とくに三軍成立との関連において一

(東洋大学史学科東洋史四年 佐藤三千夫)

「都市」の産業資本について

一近世イギリス毛織物工業研究からみた「大塚史学」の問題点一

(東洋大学史学科西洋史四年 川添洋)

■ 第十八号 (1975年)

シヨトクワにおけるローズヴェルト外交演説の真実性について

(東洋大学助教授 谷茂樹)

唐・宋時代の「平蛮頌」について一南少数民族漢化過程の一断面一

(東洋大学助手 谷口房男)

『五・一五事件ノート』

(東洋大学大学院修士課程修了 山崎博)

近世の金融講 一頼母子・無尽の変質ノート一

(東洋大学大学院修士課程 関本恵一)

■第十九号 (1977年)

大和布留郷一揆についての覚書

—『大乘院寺社雑事記』を中心にして—

(平凡社嘱託 安西欣治)

『西域同文志』巻十二・十三「天山南路回部人名二・三」について

(四日市高等学校教諭 真田安)

室町幕府と伊勢神宮 —神宮方の活動を手がかりとして—

(中央大学大学院博士課程 飯田良一)

一六五一年航海法の成立とその背景

(東京学芸大学大学院修士課程修了 手塚尚)

西遷御家人の動向 —相良氏の場合—

(東洋大学大学院修士課程修了 池田公一)

■第二十号 (1982年)

房総半島における弥生時代中期の一様相

—都川・村田川流域を中心として—

(千葉県文化財センター 相京 邦彦)

上代下級官人の改賜姓について (其二)

(文学部助手 佐藤 俊雄)

京都方広寺鐘鑄の鑄物師動員について

—「豊臣体制」解体と職人—

(本郷高校教諭 曾根 勇二)

晋の三行について

(千葉県立船橋高等学校教諭 佐藤 三千夫)

「グランディとノヴェスキ政権」

(京北高校教諭 岩瀬 俊央)

■第二十一号 (1985年)

「絶対主義化論」 —日本近世史の新たな総合のために—

(一橋大学社会学部教授 佐々木 潤之介)

文禄慶長の役と日朝貿易の関係

(東洋大学教授 田中 健夫)

東日本における初期弥生時代の墓制 一再葬墓について一

(東洋大学大学院文学研究科日本史学専攻修士課程 林原 利明)

一向一揆と徳川家康 一三河一揆の性格づけについての一考察一

(東洋大学大学院文学研究科日本史学専攻修士課程 小野 真澄)

中華ソヴェト共和国の土地改革について 一査田運動を中心にして一

(静岡県立静岡工業高校教諭 鈴木 透)

フランス第二帝政下の普通選挙制度

(静岡県立清水工業高校教諭 太田 哲嗣)

■ 第二十二号 (1986年)

マレーシアにおける瓊州人の洗夫人信仰

(東洋大学専任講師 谷口 房男)

農地証文よりみた近世初期の土地移動

一北伊豆・東駿における実証一

(静岡県立下田北高等学校教諭 高橋 廣明)

江陵雨台山楚墓について

(千葉県立船橋高等学校教諭 佐藤 三千夫)

豊臣政権と御鷹場 一御鷹場設定について一

(本郷高校教諭 曾根 勇二)

二十世紀初期のアメリカにおける進歩主義教育運動と日本における自由主義運動との比較・対照

(東洋大学史学科卒業生 波形 昭彦)

近世後期宍戸藩領における郷土の存在形態

(東洋大学大学院文学研究科日本史学専攻修士課程 佐伯 隆一)

■ 第二十三号 (1987年)

国絵図・郷帳の国郡高

(東洋大学教授 大野瑞男)

遣唐使航路の北路変更事情に関する予備的考察

一『新唐書』日本伝の記事をめぐって一

(東洋大学大学院文学研究科日本史学専攻修士課程 保科 富士男)

近世後期における上田藩の専売制 一産物会所設置の状況一

(東洋大学大学院文学研究科日本史学専攻修士課程 尾崎 晃)

メッケル招聘前史の研究

—明治日本と帝政ドイツに於ける政治と軍事の—焦点—

(東洋大学大学院文学研究科日本史学専攻修士課程修了 澤枝 洋一)

一八一三年一月二六日付の内閣覚書とウィリアム・ピット

(東洋大学卒業生 岡部 伸晃)

■第二十四号 (1988年)

家光政権後期の政治構造 —大坂城代の交代をめぐって—

(東洋大学助手 小池 進)

秋田城介安達時顕

(東洋大学大学院文学研究科日本史学専攻修士課程 細川 重男)

佐賀藩における宝暦～天明期の藩政改革

(東洋大学大学院文学研究科日本史学専攻修士課程 川口 康)

イタリア・ルネサンスにおける新プラトン主義とヘルメティズム

(東洋大学卒業生 飯野 しのぶ)

■第二十五号 (1989年)

東洋大学と考古学

(元東洋大学教授 玉口 時雄)

戦国大名今川氏の家臣団について

—家臣団発給文書の検討を通じて—

(東洋大学大学院文学研究科日本史学専攻修士課程 大石 泰史)

中東石油とトルーマン＝ドクトリン

(東洋大学史学科卒業生 中村 幸広)

古代日本の対外関係における贈進物の名称

—古代日本の対外意識に関連して—

(東洋大学大学院文学研究科日本史学専攻修士課程修了 保科 富士男)

考古学的にみた安房地方 —千葉県安房郡千倉町における調査の成果—

～壁無遺跡の資料紹介を加えて～

(神奈川県立港北高校講師 林原 利明)

書評 池田公一編『中世九州相良氏関係文書集』

(東洋大学大学院文学研究科日本史学専攻修士課程 中島 敬)

■ 第二十六号 (1990年)

古代東国における墳墓の一様相

(財団法人栃木県文化振興事業団調査技師 中山 英樹)

北条得宗家の御内人について 一尾藤氏の場合一

(東洋大学大学院文学研究科日本史学専攻修士課程 井上 恵美子)

中世アイルランドにおける売買と贈与

(早稲田大学大学院文学研究科西洋史学専攻博士前期課程 安部 牧子)

中世宮廷の学問をめぐる問題

一花園天皇の動向についての再検討一

(千葉県立松戸矢切高等学校講師 長永 孝弘)

長屋王木簡二題 一赤染豊嶋と竹野女王一

(東洋大学教授 鬼頭 清明)

■ 第二十七号 (1991年)

嘉暦の騒動と北條高時政権

(立正大学大学院文学研究科史学専攻博士後期課程 細川 重男)

佐賀藩財政史料の考察 一「御物成并銀御遣方大目安」について一

(千葉県文書館嘱託 川口 康)

チャンパー亡国の年代について

一黎の聖宗によるチャンパー親征を中心として一

(東洋大学史学科卒業生 新江 利彦)

■ 第二十八号 (1992年)

幕末期旗本用人の生活とその機能

(東京大学史料編纂所教授 宮地 正人)

転封をめぐる思想と実態

(東洋大学大学院修士課程修了 浪江 健雄)

ガリレオとメディチ家 一科学者とパトロンの関係一

(慶應義塾大学博士課程後期 北田 葉子)

国際的視野から見た「近世の日本」

(米国イリノイ大学史学科教授 ロナルド・トビ)

■ 第二十九号 (1993年)

ヨーロッパ近代民衆の「個と共同性」

—アグリコル・ペルディギエ『職人組合の書』をめぐって—

(日本女子大学教授 喜安 朗)

牧別当に関する一考察 —中世武士団への展望をこめて—

(東洋大学大学院修士課程修了 町田 有弘)

近世前期の史料用語に関する一考察 —「御用」と「訴訟」をめぐって—

(東洋大学非常勤講師 小池 進)

アレクシオス一世コムネノスの対十字軍政策

(東海大学研究員 都甲 裕文)

■ 第三十号 (1994年)

ジュシェンとマンジュ

(立教大学名誉教授 石橋 秀雄)

享保六、七年における公金為替について

—迅速な公金輸送への対応—

(東洋大学大学院文学研究科日本史学専攻修士課程修了 曲田 浩和)

文永・弘安の役を契機とする防長守護北条氏の一考察

—守護・守護代の検討を通じて—

(武蔵村山市役所職員 児玉 眞一)

—八世紀後半におけるリーズの土地利用の動向

(東北大学大学院博士課程前期 岩間 俊彦)

■ 第三十一号 (1995年)

ロシアの日本海進出とムラヴィヨフ＝アムールスキー

(創価大学教授 加藤 九祚)

律令国家による牧官補任の諸段階

—勅旨牧設定への動向の中で—

(東洋大学大学院文学研究科日本史学専攻修士課程修了 町田 有弘)

「宮の伝領」について

(黒瀬 之恵)

大藤峽瑶族社会と石牌制

(東洋大学卒業生 松浦 均)

■ 第三十二号 (1996年)

諏訪左衛門入道直性について

(東洋大学非常勤講師 細川 重男)

寛文四年の米沢藩の減封について

(東洋大学大学院文学研究科日本史学専攻修士課程修了 浪江 健雄)

帝政ローマのパトロキニウム

(東洋大学卒業生 渡辺 理和)

劉喜海の『日本一鑑』研究

(東洋大学助手 中島 敬)

■ 第三十三号 (1997年)

滝口の武者—その武力をめぐって—

(学習院大学教授 笹山 晴生)

「東天皇」国書考 —『日本書紀』の対唐観にも関連して—

(東洋大学大学院文学研究科日本史学専攻修士課程修了 保科 富士男)

十六世紀における堺の会合衆

(千葉県立沼南高柳高等学校教諭 佐々木 正行)

織田政権の京都支配 —村井貞勝の職掌の検討を通して—

(東洋大学大学院文学研究科日本史学専攻修士課程修了 久野 雅司)

■ 第三十四号 (1998年)

会社の誕生

(フェリス女学院大学教授 高村 直助)

能海寛と長江三峽行 —哲学館をめぐる能海寛と河口慧海—

(東洋大学史学科卒業生 飯塚 勝重)

1054年の「シスマ」再考

(東洋大学文学部史学科助手 都甲 裕文)

明治20年代のナショナリズム —陸羯南の思想について—

(東洋大学大学院文学研究科日本史学専攻修士課程修了 大塚 牧)

14・15世紀フランスにおける諸侯領、または地方郷土伝統の誕生

(東洋大学文学部史学科助教授 堀越 宏一)

■ 第三十五号 (1999年)

清代の貿易絵画とヨーロッパのシノズリー

(東海大学文学部教授 渡部 武)

イギリス民衆運動史の新しい視角 —カロライン王妃事件をめぐる—

(東洋大学文学部教授 岡本 充弘)

人形・動物形土製模造品祭祀考

(東洋大学大学院文学研究科修士課程修了 和田 龍介)

室町幕府政所頭人伊勢貞孝 —その経済基盤と行動原理をめぐる—

(成蹊大学大学院文学研究科博士後期課程在籍 松村 正人)

家光政権期の沿岸警備体制について

(東洋大学大学院文学研究科修士課程修了 松尾 晋一)

■ 第三十六号 (2000年)

アンティフォン弁論の年代について —暦・文体・コンピューター—

(東洋大学文学部教授 高島 純夫)

郷戸・房戸制導入の一視角

(東洋大学大学院文学研究科修士課程修了 湯川 善一)

『女学雑誌』の果たした役割 —婦人矯風会の場合を中心に—

(東洋大学大学院文学研究科博士後期課程在学 早野 喜久江)

ガスプリンスキーの社会改革構想のはじまり

—『翻訳者』創刊年に見られる理想—

(東洋大学文学部助手 渡辺 賢一郎)

■ 第三十七号 (2001年)

静岡藩商法会所の設立について

—商法会所・常平倉の理念をめぐる—

(東洋大学大学院博士後期課程在学 龍澤 潤)

織田政権の関東仕置 —滝川一益の政治的役割を通じて—

(東洋大学大学院博士後期課程在学 柴 裕之)

中世ドイツ貴族の親族集団と祈祷兄弟盟約者名簿

(東洋大学史学科卒業生 榎本 絵美)

■ 第三十八号 (2002年)

天皇権威と近世

(放送大学教授 高木 昭作)

スターリンの大テロル考

(元・東洋大学史学科教授 山極 潔)

劉琨と陳詠 一来日宋商人の様態一

(東洋大学史学科教授 森 公章)

飯沼大夫判官と両統迭立 一「平頼綱政権」の再検討一

(東洋大学史学科非常勤講師 細川 重男)

戦国期の馬借と流通経済

一越前国南条郡今泉浦中屋氏から見た馬借たち一

(東洋大学大学院博士後期課程在学 功刀 俊宏)

■ 第三十九号 (2003年)

日本から見た東アジア世界と中国から見た東アジア世界

(山梨大学教授 金子 修一)

入宋僧成尋とその国際認識

(東洋大学教授 森 公章)

「大永七年国掟」の歴史的 성격について

(東洋大学非常勤講師 久野 雅司)

愛知県における特命検閲

(東洋大学大学院修了 中村 崇高)

石清水八幡宮「大永七年雑記」の紹介

(石清水八幡宮関係文書を読む会)

■ 第四十号 (2004年)

歴史学における比較の観点の再評価について

(学習院大学教授 福井 憲彦)

ヨーロッパの水車をめぐる領主支配の背景

一「流水利用権」の根拠について一

(東洋大学助教授 堀越 宏一)

寛政期対馬藩の海防体制

(東洋大学非常勤講師 上白石 実)

一八五七年マンチェスタ美術博覧会にみる『美術』の意味

(中央大学大学院 土方 史織)

岩槻藩勝浦領における炭生産の管理とその推移

(体験博物館千葉県立房総のむら上席研究員 尾崎 晃)

石清水八幡宮引付関係史料の紹介

(石清水八幡宮関係文書を読む会)

書評 山本信吉『摂関政治史論考』

(東洋大学大学院博士前期課程 島村 遷)

■ 第四十一号 (2005年)

中世の古文書学

(東京大学教授 五味 文彦)

産業革命期における地方都市の公共制度 ―ハリファクスの事例―

(首都大学東京准教授 岩間 俊彦)

南宋初期の騎兵対策とその様態

(中央大学大学院博士後期課程 大室 智人)

書評 北田葉子『近世フィレンツェの政治と文化 ―コジモ一世の文化政策(1537-60)―』

(東洋大学博士前期課程 井澤 良美)

■ 第四十二号 (2006年)

清代「封禁」論再考 ～西南中国の視点から～

(学習院大学教授 武内 房司)

産業革命前後の主食消費 ―米食の拡大―

(東洋大学教授 大豆生田 稔)

八世紀後半の日羅関係 ―宝亀十年新羅使を中心に―

(東京大学史料編纂所研究支援推進員 平澤 加奈子)

讓位宣命の基礎的考察

(東洋大学大学院修了生 相磯 達夫)

若年寄役屋敷の交替拝領と武家社会

(東洋大学大学院博士後期課程在学 松本 剣志郎)

高木「貞久」宛書状の検討

(財団法人岐阜教育文化財団歴史資料館

歴史資料部課長補佐 吉田 義治)

史料紹介 石清水八幡宮関係史料の紹介

(石清水八幡宮関係文書を読む会)

■ 第四十三号 (2007年)

近世村落史研究を拡げる ―畿内村落の分析を通じて―

(一橋大学教授 渡辺 尚志)

戦国期禁裏小番の様相 ―内々衆と外様衆の検討を通じて―

(東洋大学大学院修了生 奥野 友美)

日本における中国米輸入と「防穀令」

(東洋大学大学院博士後期課程在学中 白田 拓郎)

ある青年会の会報を読む ―明治末期から昭和初期にかけて発行された『中川村青年会報』―

(専修大学大学院博士後期課程在学中 後藤 康行)

史料紹介 石清水八幡宮関係史料の紹介 (続)

(石清水八幡宮関係文書を読む会)

■ 第四十四号 (2008年)

公開講演 百年戦争とは何だったのか

(東京大学名誉教授 城戸 毅)

遣唐使と唐文化の移入

(東洋大学教授 森 公章)

織田政権の京都における在地支配

―村井貞勝の下代の政治的役割について―

(東洋大学非常勤講師 久野 雅司)

書評 森公章著『東アジアの動乱と倭国』

(東洋大学大学院博士後期課程在学 生島 修平)

神田千里著『戦争の日本史 14 一向一揆と石山合戦』

(東洋大学非常勤講師 柴 裕之)

谷口房男著『続華南民族史研究』

(共立女子短期大学非常勤講師 飯塚 勝重)

■ 第四十五号 (2009年)

公開講演 簡牘に書かれた律令 (中央大学名誉教授 池田 雄一)

羅城門・朱雀大路の存続と京職

(東洋大学大学院博士後期課程在学 生島 修平)

秋田藩領における在地修験の霞と堂社管理

—旧雄勝郡大沢村上法寺喜楽院を事例に—

(東洋大学大学院博士後期課程在学 松野 聡子)

遼許従贄墓誌銘考釈

—燕雲地域獲得直後における雲州の様相を考察する手掛かりとして—

(東北大学大学院博士後期課程 工藤 寿晴)

書評 森公章著『遣唐使と古代日本の対外政策』

(東洋大学大学院博士前期課程修了 戸張 真)

千葉県日本韓国・朝鮮関係史研究会編 『近世房総と朝鮮国』

(千葉県立小金高校教諭 佐々木正行)

平川新・谷山正道著『近世地域史フォーラム3 地域社会とリーダーたち』

(東洋大学大学院博士前期課程修了 渡邊 潤一)

小池喜明著『武士と開国』

(東洋大学非常勤講師 上白石 実)

■ 第四十六号 (2010年)

公開講演 「支那駐屯軍」をめぐる国際関係

(麗澤大学教授 櫻井 良樹)

近世後期幕府代官仕法とその意義 ～引請人による荒地起返仕法の分析から～

(千葉県文書館県史・古文書課嘱託職員 中谷 正克)

曹魏時代における肉刑復活論に関する一考察

(明治大学大学院博士後期課程在学 落合 悠紀)

史料紹介 『朝野群載』巻二十二「国務条々」校訂文(案)と略註

(東洋大学大学院博士後期課程在学 生島 修平)

(お茶の水女子大学大学院博士後期課程在学 染井 千佳)

(東洋大学教授 森 公章)

辻善兵衛商店所蔵「修斎帖」

(東洋大学非常勤講師 龍澤 潤)

書評 森公章著『地方木簡と郡家の機構』

(所沢市立埋蔵文化財調査センター主査 根本 靖)

高橋継男編『中国石刻関係図書目録(一九四九—二〇〇七)』

附『石刻史料新編』(全4輯)書名・著者索引』

(明治大学大学院博士後期課程在学 堀井 裕之)

■ 第四十七号 (2011年)

近世在地修験の滅罪檀家所持と一派引導 — 秋田藩を事例に —

(東洋大学大学院博士後期課程在学 松野 聡子)

北魏における軍鎮將の出自についての一考察

(白山史学会会員 玉野 卓也)

牛李党争終焉後の「李派」 — 宣宗大中年間の動向を中心として —

(東洋大学大学院博士後期課程在学 竹内 洋介)

カペー朝末期ノルマンディにおけるヴィコント・バイイ制とエシキエ

(青山学院大学大学院博士後期課程在学 花房 秀一)

書評 白川部達夫著『日本近世の自立と連帯 — 百姓的世界の展開と頼み証文 —』

(東洋大学文学部助教 松本 剣志郎)

大野瑞男著『松平信綱』(人物叢書)

(東洋大学・聖徳大学非常勤講師 小池 進)

■ 第四十八号 (2012年)

公開講演 古代常陸国の相撲人と国衙機構

(東洋大学教授 森 公章)

啓蒙期フリーメイソンの儀礼と位階 — 石工伝統から騎士団伝説へ —

(東京大学大学院教授 深沢 克己)

江戸城外堀と赤坂溜池組合

(東洋大学助教 松本 剣志郎)

三菱商事シアトル支店の小麦仕入れ — 一九二〇年代末の産地買付計画 —

(東洋大学教授 大豆生田 稔)

前四世紀ギリシアの海上貿易における $\kappa\omicron\iota\nu\nu\acute{o}\varsigma$

(東洋大学大学院博士後期課程在学 根本 泰充)

■ 第四十九号 (2013年)

公開講演 イベリア・インパクトと壬辰戦争

(早稲田大学名誉教授 深谷 克己)

徳川家康の甲斐郡内領支配と鳥居元忠

(千葉県文書館嘱託 柴 裕之)

交代寄合東高木家の江戸屋敷書上

(東洋大学助教 松本 剣志郎)

近世修験の寺跡相続儀礼 — 秋田藩領を事例に —

(東洋大学大学院博士後期課程在学 松野 聡子)

史料紹介

「権祝矢島家文書」所収「篠田氏書翰」－信濃高遠藩保科氏関係史料の紹介－

(東洋大学・聖徳大学非常勤講師 小池 進)

書評

白川部達夫著『近世質地請戻し慣行の研究－日本近世の百姓的所持と東アジア小農社会－』

(東洋大学助教 松本 剣志郎)

■ 第五十号 (2014年)

特別講演

東アジアにおける「日本」の始まり

——近年発見の百済人「祢軍（でいぐん）墓誌」の理解をめぐって

(明治大学文学部教授 氣賀澤 保規)

論文

寛平度遣唐使再説

(東洋大学文学部教授 森 公章)

中世後期イングランドにおける消費と法 —奢侈禁止法を中心に—

(東洋大学大学院博士後期課程在学 町田 有里)

書評

森公章著『在庁官人と武士の生成』

(お茶の水女子大学資料館

アカデミックアシスタント 染井 千佳)

書評

神田千里著『戦国時代の自力と秩序』

(千葉県文書館嘱託 柴 裕之)

書評

白川部達夫著『旗本知行と石高制』

(横浜市歴史博物館学芸員 齊藤 司)

書評

岡本充弘著『開かれた歴史へ』

(東洋大学非常勤講師 渡辺 賢一郎)

■ 第五十一号 (2015 年)

公開講演

花山院の修行説話をめぐって

(国際日本文化研究センター教授 倉本 一宏)

迷信・軽信・篤信

—十七世紀イングランドにおける魔女と悪魔憑き—

(東洋大学文学部専任講師 後藤 はる美)

論文

明応の政変における諸大名の動向

(東洋大学大学院博士後期課程在学 小池 辰典)

史料紹介

『北山抄』巻十「吏途指南」校訂文(案)と訓読・略註

(東洋大学大学院博士後期課程在学 上村 正裕)

(東京大学大学院博士後期課程在学 神戸 航介)

(お茶の水女子大学資料館

アカデミックアシスタント 染井 千佳)

(東京大学大学院博士後期課程在学 武内 美佳)

(東京大学大学院博士後期課程在学 林 友里江)

(東洋大学文学部教授 森 公章)

書評

神田千里著『織田信長』

(東洋大学文学部非常勤講師 久野 雅司)

■ 第五十二号 (2016 年)

特別講演

チャーティスト運動の物語り方、分析の仕方

(東洋大学文学部教授 岡本 充弘)

特別講演

戦後日本の傷痍軍人～一九六〇年代の白衣募金者問題～

(東洋大学文学部助教 植野 真澄)

史料紹介

城河鉄道の成立と展開

(神奈川大学大学院博士前期課程修了 新原 淳弘)

書評

柴裕之著『戦国期・織豊期大名徳川氏の領国支配』

(江東区文化財専門員 功刀 俊宏)

小池求著『20世紀初頭の清朝とドイツ 多元的国際環境下の双方向性』

(東洋大学大学院博士後期課程在学 中村 祐也)

第五十三号 (2017年)

◆70周年特別企画

長篠の戦い後の織田信長と本願寺

(東京大学史料編纂所准教授 金子 拓)

織田信長と足利義昭の軍事的関係について

(東洋大学文学部非常勤講師 久野 雅司)

足利義昭・織田信長による若狭武田氏への政策について —武藤友益討伐などから—

(江東区文化財専門員 功刀 俊宏)

織田信長と諸大名—その政治関係の展開と「天下一統」—

(千葉県文書館嘱託 柴 裕之)

特別企画「織田信長像再考」の座談会を終えて

(東洋大学文学部教授 神田 千里)

◆特別企画に寄せて

西洋古代史からのコメント

(東洋大学文学部教授 高畠 純夫)

中国史からのコメント

(東洋大学文学部教授 千葉 正史)

書評

池田仁子著『金沢と加賀藩町場の生活文化』 『近世金沢の医療と医家』

(法政大学文学部助教 松本 剣志郎)

高畠純夫著『ペロポネソス戦争』

(愛媛大学法文学部准教授 齋藤 貴弘)

■ 第五十四号 (2018年)

論文

例文考—平安貴族社会における記録利用と保管—

(東洋大学大学院博士後期課程在学 上村 正裕)

平安中・後期の対外関係と対外政策—「遣唐使」以後を考える—

(東洋大学文学部教授 森 公章)

第二次大隈内閣期における対中経済政策の策定

—鉄鋼・金融政策の立案・決定過程を中心に—

(國學院大學博士課程後期在学 伊藤 陽平)

研究ノート

勝海舟編『開国起源』と木村芥舟編『三十年史』の類似性 —『開国起源』編纂の意図—

(東洋大学人間科学総合研究所客員研究員 和田 勤)

講演

大学生の苦悩と夢

(東國大學校文科大教授 徐 仁範)

■ 第五十五号 (2019年)

論文

一八八九～九〇年の米価騰貴と外米輸入

(東洋大学文学部教授 大豆生田 稔)

日露戦後の砂糖官営構想をめぐる政治過程—桂系新党運動の展開と産業保護主義の台頭—

(國學院大學博士課程後期在学 伊藤 陽平)

ローマ帝国における大理石採石場運営 —ドキメイオン産大理石の碑文の分析を中心に—

(東洋大学大学院博士前期課程修了 本田 大紀)

研究ノート

幕末維新期の政局と土佐藩の「国事周旋」

—『寺村左膳道成日記』と『神山郡康日記』を中心に—

(東洋大学大学院博士後期課程在学 小林 哲也)

書評

松野聡子著『近世在地修験と地域社会—秋田藩を事例に—』

(横浜開港資料館副館長 斉藤 司)

小池進著『保科正之』

(東洋大学文学部非常勤講師 久野 雅司)

高島純夫著『アイネイアス『攻城論』—解説・翻訳・註解—』

(大阪大学大学院文学研究科特任研究員 竹内 一博)

■ 第五十六号 (2020 年)

公開講演

再検討「江戸無血開城」 特に「静岡会談」はどのように語られてきたか、その「功労者」は、 今後はどのように語られるべきか。

(東洋大学文学部教授 岩下 哲典)

論文

葬司の基礎的考察 —律令官人社会の一断面—

(東洋大学大学院博士後期課程在学 上村 正裕)

織田信長政権の畿内支配

(東洋大学文学部非常勤講師 久野 雅司)

書評

松本剣志郎著『江戸の都市化と公共空間』

(首都大学東京都市環境学部助教 高道 昌志)

■ 第五十七号 (2021 年)

論文

尾張国解文と郡司・国衙官人

(東洋大学文学部教授 森 公章)

一八四九年の英艦マリナー号来琉と在琉英人宣教師ベッテルハイム

—ベッテルハイムの滞在に関する英琉交渉に注目して—

(東洋大学大学院博士後期課程在学 恵谷 敏規)

文久年間の対馬藩による援助要求運動と勝海舟

(東洋大学大学院博士後期課程在学 和田 勤)

上野戦争における福山藩士の彰義隊不参加と山岡鉄舟

(東洋大学大学院博士後期課程在学 本林 義範)

■ 第五十八号 (2022 年)

公開講演

インド洋におけるアラブの船乗りたちの航海技術

(大東文化大学東洋研究所教授 栗山 保之)

ギリシア独立戦争再考

(東洋大学文学部教授 村田 奈々子)

論文

日本人キリシタンの布教活動

(白山史学会会員 神田 千里)

億兆安撫の宸翰を再考する 一木戸孝允の自筆草案を中心に一

(白山史学会会員 村田 明夫)

京張鉄道建設と張家口貿易の再編

(東洋大学大学院博士後期課程在学 程 楽)

研究ノート

土佐藩における「異国」の衝撃 一イカルス号乗組員殺害事件を中心に一

(東洋大学大学院博士後期課程在学 小林 哲也)

史料紹介

全生庵所蔵の山岡鉄舟に関する四通の履歴書について

(東洋大学大学院博士後期課程在学 本林 義範)

公開講演

- 鎌倉時代の朝幕関係 (高橋 典幸)
聖者崇敬からみたエジプトの近代化 (高橋 圭)

論文

- 明治期における真言僧釈雲照と宮内省官僚山岡鉄舟の交流
—宮中「後七日御修法」再興から戒律主義結社「十善会」開設まで— (本林 義範)

研究ノート

- 『吾妻鏡』源氏三代以降の夢記事について (濱田 浩一郎)
薩長同盟を再考する (小林 哲也)

史料紹介

- 桜田門外の変および近藤長次郎に関する新「史料」について (岩下 哲典・小林 哲也)
勝海舟の渡米記録写本「勝義邦航米日記」「掌記二 航海日記」の前半部分翻刻について
(和田 勤)

書評

- 森公章著『武者から武士へ 兵乱が生んだ新社会集団』 (中島 皓輝)
木下聡著『山内上杉氏と扇谷上杉氏』 (駒見 敬祐)